

パブリックコメント一覧

	御意見の内容	市の考え方など
1	(2) 課題3に「災害時のスムーズな避難及び支援体制」、基本方針6の基本施策2「防災・防犯対策の推進」として、取組が挙げられているがこれでは不十分である。障害者の避難計画を詳細に立てるべきである。	基本方針6、基本施策2の「(1)防災対策の充実」において、避難行動要支援者のより具体的な個別避難計画作成に取り組むこととしています。障害のある方が災害時に安全に避難できる体制の整備に努めてまいります。
2	障害者への支援対応相談窓口の利用のしやすさ、分かりやすさ等の充実が大切である。対象者に向き合った体制になることに期待する。	基本方針5、基本施策1「障害福祉サービスの充実」を重点施策として、障害のある方が必要とするサービスに応じて、適切な提供体制を確保するため、職員の質の向上や関係機関との連携強化に取り組むこととしています。相談窓口において障害のある方が安心して利用いただけるよう努めてまいります。
3	「障害者」という呼び方をもっとポジティブな言い方に変えられないか。	「障害者」の呼び方については、国や県、関連団体等の動向を注視するとともに、市でも引き続き検討してまいります。
4	精神障害者の増加が多いと思う。孤立させない、周辺環境の改善などの対策に力を入れてほしい。	精神障害者の増加について、本計画では「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築」を取組として挙げています。医療・保健・福祉関係者による連携とともに精神障害者が地域の一員として安心して暮らせるよう取り組んでまいります。
5	障害福祉サービス及び地域生活支援いずれも見込量が増えており、人口減少が進む中で対応できなくなるのではないかと、担い手の確保は市だけの対応では難しいのではないかと、広い視野での対応を検討して行くべきだと感じている。	福祉人材の確保については、障害福祉サービス事業者からも重要な課題として挙げられています。計画では、基本方針5「福祉サービスの充実」として、福祉人材の確保・育成・定着に取り組むこととしています。関係機関と連携をしながら人材不足解消に取り組んでまいります。
6	障害者雇用で働いているが、収入が少なく、生活が苦しい。精神障害者保健福祉手帳を持っているが他の障害の手帳では補助などの優遇がされており不公平に感じる。今は親と住んでいるが将来を考えると不安である。	本計画では、「共に生きる社会の実現」を基本理念としています。親亡き後でも、障害者が地域で安心して暮らすことができるよう、基本方針に掲げている、保健・医療、教育・療育、就労・社会参加、福祉サービス、生活環境の分野において総合的な支援に努めてまいります。
7	外出先や仕事先で冷たい目で見られる。障害に対する理解が進んでほしい。	基本方針1として「心のバリアフリー化の推進」を挙げています。障害に対する市民の理解の促進を図ってまいります。
8	重度障害者施設の実習で働く人に感銘を受けた。 常磐線の松戸駅で視覚障害者を助けた。 電車に乗っていた時、視覚障害者と盲導犬がいたが介助する声を掛けられなかった。 障害福祉サービス等の内容がとても参考になった。	基本方針1として「心のバリアフリー化の推進」を挙げています。障害に対する市民の理解を促進し、共に支え合える社会の実現を目指して取り組んでまいります。
9	障害者に現行の施策に対する満足度や要望を聞く定期的なアンケートを実施してほしい。結果の分析や市としての見解、パブコメなどの情報を広く共有してほしい。	本計画の策定にあたり、障害のある方に対して現状やニーズ等のアンケート調査を実施しています。今後も計画策定の際にはアンケート調査を実施するとともに、基本方針6基本施策1バリアフリーの推進として「情報バリアフリー」に取り組み、障害のある方への情報の共有に努めてまいります。

	御意見の内容	市の考え方など
10	就労継続支援B型の工賃では生活できないといわれた。パワハラだと思う。相談支援員を交代させてしてほしい。相談支援員を指導してほしい。	障害福祉サービスや職員等の質の向上に向けた取組は、本計画において各分野で取り組むこととしています。より質の高いサービスの提供ができるよう努めてまいります。
11	就労継続支援B型に通っているが、工賃ではなく社員としての給与がほしい。	就労継続支援B型で十分な訓練をした後、一般企業への就職を目指すことができます。また、障害福祉サービスとして令和6年度から「就労選択支援」が創設されます。障害のある方が自身の状況と希望に沿った仕事ができる体制の整備に努めてまいります。
12	日立市では相談支援事業所の数が足りていない。障害福祉のケアマネジャーも足りておらず、連絡が何日も取れないことがある。障害よりも介護サービスが優先されており、適切なサービスが受けられない。ヘルパーがいないという理由でサービスが利用できない。	障害福祉サービスの人材不足については、事業者からも重要な課題として挙げられており、本計画においても「福祉人材の確保・育成・定着」に取り組んでまいります。
13	市も改善する姿勢が見られない。予算を取って本当に必要な人が適切なサービスを受けられるような体制を整備してほしい。	事業所数は全体的に増えているものの、サービスによっては未だ不足していると認識しております。引き続き、障害のある方が十分にサービスを受けられるよう、茨城県と連携を図りながら事業者への参入を働きかけるなど、サービス提供体制の確保に努めてまいります。併せて、障害福祉サービスや職員等の質の向上に努めてまいります。
14	ひたちを元気にするならば、コロナワクチンをやめさせるべき。ワクチンの危険性を日本のメディアでは放送されない、医者たちも本で訴えている。7回目のワクチンは外国でもやっていない。国の忖度なしで市民の声を聞いてほしい。	新型コロナウイルスワクチン予防接種については、「新型コロナウイルスワクチン予防接種についての説明書」をはじめ、ホームページやコールセンターなどを活用し、情報提供や相談受付を実施しています。ワクチン接種について御自身で御判断いただけるよう、引き続き情報発信を継続してまいります。